

歌とトークで迫る ラテンアメリカの今

—米国の孤立と裏庭のうごめき—

2015年10月3日(土)
メルパルクKYOTO
7Fイベント会場

(京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13)

お問い合わせ・ご予約/075-748-9638

主催: Global Network21

Open p.m.1:00 Start p.m. 1:30 ~ Charge:1000円

アクセス/JR京都駅(烏丸中央口)から東へ約1分



清水透

1968年、東京外国語大学大学院修士課程修了。東京外国語大学、獨協大学、フェリス女学院大学、慶應義塾大学教授をへて2009年退職。慶應義塾大学名誉教授。

1979年からは、「近代」が生み出した最果ての〈南〉、メキシコのマヤ系先住民チャムーラ村の一家族の聞き取りを開始し、目下3世代目の聞き取りをつづけている。この間、フィールド調査をベースに『コーラを聖なる水に変えた人々—メキシコ・インディオの証言』(現代企画室、1984年)、『エル・チチョンの怒り—メキシコにおける近代とアイデンティティ』(東京大学出版会、1988年)、『砂漠を越えたマヤの民—揺らぐコロニアル・フロンティア』(『オルタナティブの歴史学』所収、有志舎、2013年)、『ラテンアメリカ 歴史のトルソー』(立教大学ラテンアメリカ研究所、2015年)を刊行。

2009年以後、趣味が高じてラテン、シャンソンを中心に、歌手としても活動。写真家として個展も開催する。



八木啓代

大阪生まれ。語学留学生として訪れたメキシコで、歌手としての才能を認められて、現地でプロとして活躍。その声は「絹の声」と激賞され、多くの作曲家から曲を献じられ、ジャズ、ラテンバラード、民俗音楽など、多彩な音楽の垣根を飛び越え、現在もラテンアメリカと日本を拠点に、数々の公演・国際フェスティバルで高い評価を受ける。多くの音楽家とも共演するかたわら、旅人として各地を巡り歩き、作家・エッセイストとしても『禁じられた歌』(晶文社・日本図書館協会選定図書)、『危険な歌』(幻冬舎文庫)、『唄采がお待ちかね』(光文社文庫)、『キューバ音楽』(青土社)他何冊もの本を上梓する。公式サイト <http://www.nobuyoyagi.com>

吉田幸生

関西を中心に、主にシャンソン歌手の伴奏ピアニストとして活動する。プロからアマまで幅広くサポートして、キャリアは25年を超えた。シャンソン歌手たちに提供した作曲や訳詞も数多い。<http://www.44day.com>